

令和3年度 事業報告

1. 啓発普及事業

(1) 会報の発行

令和3年9月に第127号、令和4年1月に128号、同年3月に129号を発行し、会員ならびに関係機関等に配付しました。

(2) 脳卒中予防の講演会「すこやか脳を守る講演会」の主催

県内各地で開催の計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を勘案して、開催を見合わせました。

(3) 予防講演会等への講師派遣

新型コロナウイルス感染症の感染状況から、講師派遣の依頼がありませんでした。

(4) 脳卒中予防関連の講演会への後援

新型コロナウイルス感染症の感染状況から、講演会の後援依頼がありませんでした。

(5) Jリーグ試合会場での予防啓発イベント

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、観戦者の入場制限等が行われたため、実施を見合わせました。

2. 研究、研修事業

(1) 医師、医療技術者研修の助成

新型コロナウイルス感染症の感染防止の関係から、研修会への講師派遣依頼や後援の依頼がありませんでした。

(2) 第180回宮城県脳卒中治療研究会の開催

令和4年2月3日、艮陵会館を会場にオンラインにより開催しました。特別講演Ⅰ「脳卒中診療の展望－急性期脳梗塞の再灌流療法を中心に－」、講師は、独立行政法人国立病

院機構大阪医療センター脳卒中内科科長の山上 宏先生。特別講演Ⅱ「脳動脈瘤に対する血管内治療の進歩と現時点での課題」、講師は独立行政法人国立病院機構大阪医療センター脳神経外科科長の藤中俊之先生。51名の参加がありました。

なお、同研究会は、同日に行われた同研究会世話人の打合せにおいて、今回をもって終了することが決定されました。

(3) 専門医向けの講演会の開催（共催）

令和3年9月17日、江陽グランドホテルを会場に第23回みやぎブレインアタック研究会をWeb方式により開催しました。特別講演1『With コロナ、With 血栓回収時代の脳卒中診療』、講師は、独立行政法人国立病院機構大阪医療センター脳卒中内科科長の山上 宏先生。特別講演2『脳出血治療の新たな展開～攻めの降圧治療と脳保護治療～』、講師は、久留米大学医学部脳神経外科学講座主任教授の森岡基治先生。46名の参加がありました。

(4) ストップ！NO 卒中プロジェクト in MIYAGI の開催（共催）

令和3年10月18日、オンライン配信により開催しました。特別講演「コロナ禍での脳卒中医療連携/体制について」、講師は、杏林大学医学部脳卒中医学教室教授の平野照之先生。29名の参加がありました。

3. 調査登録事業

令和3年3月31日付で、宮城県と「令和3年度宮城県脳卒中登録管理事業業務」について、業務委託契約を締結し、前年度から引き続いて登録事業を協力実施しました。

(1) 脳卒中患者登録状況

登録調査区等	調査登録数	調査（参加）医療機関名
治療研究会参加施設		1. 東北大学病院 2. 広南病院 3. 仙台医療センター 4. 仙台市立病院 5. 仙台徳洲会病院 6. 大崎市民病院 7. 古川星陵病院 8. 気仙沼市立病院 9. 石巻赤十字病院 10. 仙石病院 11. 坂総合病院 12. 赤石病院 13. 総合南東北病院 14. 宮城病院 15. みやぎ県南中核病院 16. 公立刈田総合病院 17. 東北医科薬科大学病院 18. 東北労災病院 19. 仙台東脳神経外科病院 20. 泉病院 21. イムス明理会仙台総合病院
合計	5,844件	

(2) 脳卒中登録実務委員会について

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを勘案して、委員会を書面審議で実施することになり、荒井啓晶実務委員会代表から令和4年3月16日に「令和3年度脳卒中管理事業」に係る提案書及び説明書を送付して、3月23日までに全員から承認を得ました。

4. 奨学金給付事業

令和3年度は、海外留学奨学生の応募がありませんでした。

5. 会員数

令和3年度（令和4年3月31日現在）の宮城県対脳卒中協会の維持会員数は、法人会員30団体、個人会員532名です。

令和3年度 事業報告の付属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成を省略します。